

キオマ通信

20230915 VOL14 MASEKE_HA



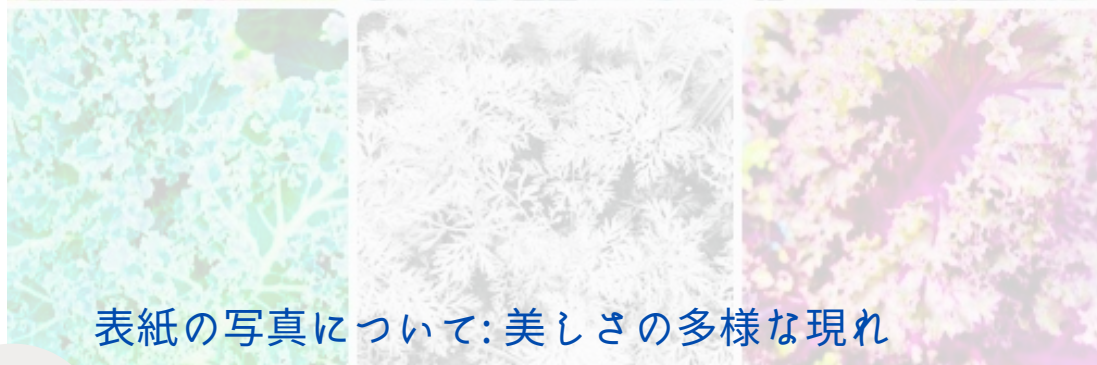
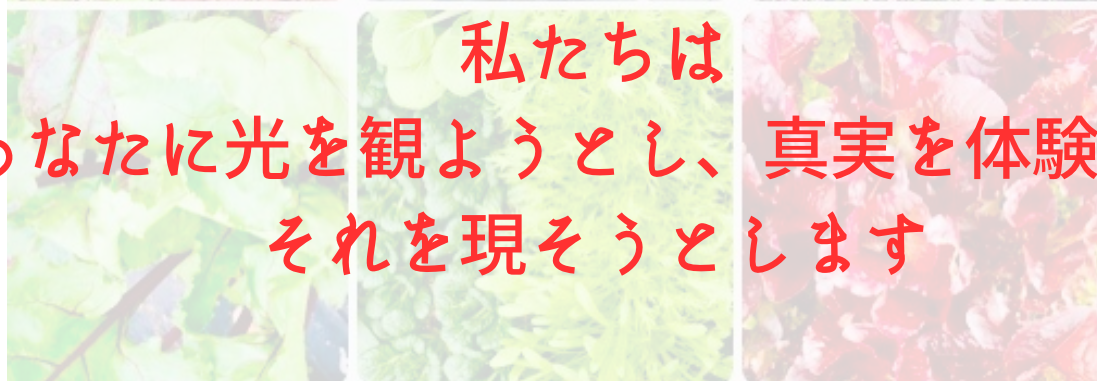
diverse beauty:ISuN

キオマ通信

20230915 VOL14 MASEKE_HA



私たちは
あなたに光を観ようとし、真実を体験し、
それを現そうとします



表紙の写真について: 美しさの多様な現れ



秋のはじめに思うことは…お米の収穫

光を生きるあなたへ

光ンヤン

第14回 「誰もが豊かで、美しい」

トソスンヤン ありがとうございます。

自分のことを気にする人って、自分の発言はおかしくなかったかな？とか、自分の行動は他の人に迷惑をかけてなかったかな？とか、思います。

そんな人は、自分がどんなに素晴らしく、豊かで、美しい存在であるかには、気がつきませんね。

とてももったいないと思います。

どんな人も、生まれたばかりの赤ちゃんの時、お母さんやお父さんやおじいちゃんやおばあちゃんやおじさんやおばさんやお兄ちゃんやお姉ちゃんをとても幸せにしています。

本来、すべての人は、ただそこにいるだけで、どんな人も祝福する存在です。

人は大人になっていく過程で、言葉を持ち、それで良い悪いを判断し、自分はダメだとか、いいとか決めつけますが、本当はそんなことは関係なく、大人になっても、そのまま他者を祝福している存在です。

光を生きるというのは、自身の豊かさや美しさをそのままに表すことです。

闇を生きるというのは、自身の豊かさや美しさを隠してしまうことです。

そして、光を生きても、闇を生きても、その人の豊かさや美しさは本当は何も変わっていません。

そのことに気がつく時、人は光と闇が統一されて、絶対の光を生きるようになります。

絶対の光はいつもそこにあります。

それは決してなくなることはなく、永遠です。

トソスンヤン ありがとうございます



秋のはじめに思うことは…世界が青から赤に変わるんだな（信号のことではないけど）

第14回 K-PVT部門の活動について

トソスキツマ ありがとうございます。

前回までは、KIRスタッフについてお伝えしてまいりました。
今回からは、KIRの各部門がどのような活動をしているか、についてお伝えしていきます。

初回は、K-PVT部門です。



コトハとは「光と波」
「光」とは普遍意識の目覚めによって現れる自然知性
「波」とは自然知性によって生じる、
この自然や宇宙創造の響きを意味します。

コトハ・プライモーディアルヴァイブレーションテクニック
(K-PVT)とは、自然知性の光を体験し、
それを響かせるための技術です。

K-PVT部門は、この技術を指導する役割を担っております。

また、K-PVTをより多くの方に習得していただくため、K-PVTコーディネーターの育成をしております。また現在は、中目黒・名古屋・神戸にK-PVTゲートがあり、今後は全国・世界へと広めていきます。

また、K-PVTをすでに習われた方が対象となりますが、毎月第2土曜日10:00～“コトハ・サウエン”を開催しています。この会は、近況についてお話をしたり、体験のシェアを行うことで、ご自身の体験について確認ができる場所です。現地(今治事務所)にてご参加いただくこともできますし、Zoomでもご参加いただける会となっております。

【Zoom情報】

ミーティングID: 890 5257 3324

パスコード: 256754

またルートラーナ暦に沿って、祭祀が執り行われておりますが、祭祀に関する知識や運営について、取りまとめをしております。

皆様、1日3回の祭祀に参加し、新しい日本のエネルギー網をつなげましょう！

トソスキツマ ありがとうございます。



秋のはじめに思うことは…猫は、どのタイミングで冬毛に生え変わるんだろう??

第14回 農地から秩序を知る

トソスツケオありがとうございます

ツケオには、秩序というキーワードがあります。

秩序というと、何かの規則や決まりのような堅苦しいものだと思っていました。

でも、先生からは秩序というのは水が上から下へ流れるような自然の法則と伝えられました。

改めて秩序というキーワードをネットで調べてみると、【自然や社会を一貫して支配している原理、法則性。この宇宙の中に含まれているさまざまな多様を統一化するところの原理。】と記載されていました。

ツケオは、多様化という原初の光の質があります。

秩序と多様化というのは、リンクしている言葉と気づきました。

農地で秩序について考察してみると、農地では自分が植えたい作物を植えるのではなく、その土地に適した作物を植えることが大切ということをおもひ出します。

地域によって気候に適した作物がありますが、同じ地域でも土の状態によって適した作物は違います。

もっと言えば、同じ敷地の土地でも、右端の方は水が溜まりやすい土地だったり、左端の方が乾燥している土地があります。

農地で秩序という質を活かすなら、自分が植えたいものを植えるのではなく、その土地に適した作物を植えることが秩序だと感じます。

そう思うと秩序というのは、なにか作為的、人工的に行う、規則や決まりという堅苦しいものではなく、もっとも自然なことを行うことと気づきます。

秩序というキーワードを改めてみると、【この宇宙の中に含まれているさまざまな多様を統一化するところの原理】とあります。

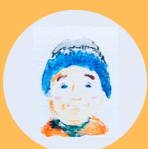
農地では色々な土地の状態があり、色々な植物があり、色々な虫があり、色々な水の水脈や通路があり、石があったり、日が当たるところや日陰の場所があったりと、多様の現れとしてあります。

農地の多様を統一化するなら、なにか人工的に農地を作るというのではなく、その土地、土地に合わせた1=3の全体性をそこに観ることだと思えます。

どのような土地でも多様があり、そして統一化することができると思えます。

それは、なんとかしようとするのではなく、対象に光を観ようとすることであり、それが自然ということであり、秩序だと気づきました。

トソスツケオありがとうございます



第14回 大三島の秋祭り

トソスワナム

ありがとうございます。

大三島は朝晩は、だいぶ涼しくなり、秋の虫の音もより一層聞こえてきます。
しかし日中はまだまだ日差しが強く、蒸し暑さが続いています。

大三島では、10月の初旬に各地域にて、秋祭りが行われます。
ワナムが住んでいる上浦町井口でも祭りを迎えるにあたって、掃除などが行われています。
井口では子供獅子が行われるそうです。まだ家には練習している笛の音などは聞こえてはきませんが、4年ぶりに祭りが開催されるそうです。
大山祇神社の秋祭りは「産須奈祭」と呼ばれ、大三島の人々による内々の祭りです。
かつて大山祇の神は上浦町の瀬戸に祀られていて、そこにはみたらしの井戸と呼ばれる井戸があり、祭りではその井戸の水を先頭にして行列が行われて、大三島町、上浦町問わず、島民の人々がみんな参加し、そして、各地域からだんじりや継獅子が集まるそうです。
昔は他の島々からも集まっていたそうです。
一つの神社に集まることは、各地域のつながりを大切にされていることなのかなと思います。
今年は参加はできませんが、機会があれば見に行ければと思います。

トソスワナム

ありがとうございます



第14回 葛藤

トソスヤリノ
ありがとうございます

先日、意識開発と心の浄化をもたらす講座「真の自己の目覚めと創造の仕組みを学ぶ」（通称：スートラ講座）において、ンヤン先生が知の心と情の心についてお話しして下さる機会がありました。

前号のキオマ通信でもンヤン先生は知の心と情の心のどちらが優位であるかによって、私たちがどのように物事を判断するか傾向が違ふこと、そしてそれぞれのやり方で「わたし」から「わたしとあなた」へ、さらに「みんな」へと進んでいこうとすることの大切さについて書いていただきました。

自身がどちらが優位なタイプであるかを知ることが大切ですが、より大切なのはその性質にとらわれず、葛藤し、他者に光を観ようとする事です。最近ヤリノは講座運営業務を通してそのことに直面しています「お前はKIRに入って他者の進化のために、他者に光を観ようとするために純粋な知識に触れているか？」と。

純粋な知識を学び、他者の進化のために献身することで知の心と情の心を育てる。ルートラーナ創造活動グループはそのために最適なものと言えます。

さて、上記のスートラ講座が10月14日（土）から新たに始まります。お申し込みはKIRのHPをご覧ください。

皆様が純粋な知識に触れ、進化に向かって歩まれることを、これからも支援させていただきます。

トソスヤリノ
ありがとうございます



第14回 K-PVT は心身を浄化する

トソスワトホ ありがとうございます。

すべての人が光を体験し、響きを心の内側で感じる事が出来ます。しかし、心にストレスがあり、あるいは神経系や生理機能に毒素が溜まっていると、その響きを感じる事ができず、また光が正しく、本来の形になっていきません。

ストレスや毒素が取り除かれていくと、自然に響きを感じる事が出来るようになり、光が本来の形になっていくようになります。

K-PVTはそのような心や神経系に溜まっているストレスを取り除きながら、よりよく響きを感じるようになり、光を形にしていくための技術です。

トソスワトホ ありがとうございます。



第14回 内側からの現われ

トソスナエン

ありがとうございます

キオマ食堂を訪れるお客さまは、人間ばかりじゃありません。
先日は、なんとも哀愁漂う猫がおたずねになりまして、交流しました。
食堂を出てドア側から振り返ると、そこに前方低い位置からの視線を感じました。
それは猫。
毛並みも乱れ、よく見れば痩せたからだは傷だらけで、
一度とは思えぬ戦いをくぐりぬけてきたのであろう生々しい傷跡がそこかしこに見られ
くたびれた感はあるものの、ナエンを静かに見つめる目には畏れも緊張もなく、
ただ見ている、という表現がふさわしい眼差しでした。

格好いい、

猫の姿をしているのだが、猫とも思えないような、
野良猫さんの鋭さはなく、諦めではなく達観しているような、
静かに現実を受け入れているような落ち着いた風情と佇まいでそこにいました。
どんな姿形であろうと、どんな態度や言葉を受けようと、
ありのままを観、愛し、自身を現していくことをやめない。
フトそんなことを感じたあの日でした。
そして自身はまだまだ甘っちょろい、ということも。
あの猫のギリギリ感に到底及ばない生ぬるさを感じたのも確かで、
己ののほほんさ加減に、恥ずかしさと危機感を覚えたくらい。

そういえば…であった猫とはなんの関係もないですが、
キオマ食堂には店内でお読みいただける何冊かの本が置いてあり、その中の一冊に
デブ猫ちゃんの絵本、あります。
今治出身かのうかりんさんの描くデブ猫マルのお話です。
マルはデブ猫設定ですが、シャープでカッコいい猫です。

トソスナエン

ありがとうございます



第14回 その14

トソステケエ
ありがとうございます。

チケカフェのしくみがよくわからん、一体いつやってますのんというお声が聞かれましたので、ルートラーナ創造活動グループ内ではシェアさせていただきました件、こちらでも。

チケカフェは、毎週金曜と土曜の二日間、14:30開店、16:30閉店です。

キオマ食堂の営業後、準備のお時間をいただいておりますゆえ、13:55~14:30の間は一度みなさまにご退室いただいております。何卒ご理解の程、お願い申し上げます。お散歩でもどうぞ。暑くて散歩なんかやってられん、という方はイオンなどへどうぞ。涼しいです。
14:30オープンですが、そのときチケ菓子はできあがっていたり、いなかったりします。お手柔らかにどうぞ。ケチ菓子じゃないです。チケ菓子です。

お支払いは、お帰りの際にお問い合わせいたします。食器などはどうぞそのまま。ここへ来て何を食べたかなど、忘れてしまわれるかと思えますゆえ、写真に残されたい方はパシャリとどうぞ。Instagramやっとります (@chikecafe)。ご覧の通り、ためになることは何一つ書いていません。お手柔らかにどうぞ。

やさぐれマスターが時々いますが、禁煙です。

先日、こんなことがありました。

開店前の作法として、空間を整えようと掃除機をかけ、準備にかかろうとしていたとき、お隣のクリニックから、ロヲエさんがお水を汲みにいらっしゃいました。お店に入られた瞬間、「うわーなんかめっちゃ整ってるー」と、伸びやかお声でおっしゃり、お水を汲みまた帰っていかれた、という、ただそれだけのことなのですが、なんだか励まされた思いがしたのでありました。

続く（続くが散らかりすぎて收拾がつかない）。

トソステケエ
ありがとうございます。



秋のはじめに思うことは…空、高くなったなあとか、秋の夜長のこととか、
スイートポテト美味しいよなあ、とか。

コトハを学び、ミコトを生きる

ワラン

第12回 「スートラ講座」

トソスワラン
ありがとうございます

皆さん、こんにちは。ワランです。
今回は「コトハを学び、ミコトを生きる」の第12回です。

ワランが本格的に「知識」を学び始めたのは、ンヤン先生のスートラ講座からです。コトハを学び、ミコトを生きるきっかけになったのがこの講座です。

ヨーガ・スートラの4つの章は、脳の4つの葉（後頭葉、前頭葉、頭頂葉、側頭葉）に対応しており、かつ、スートラの各詩節はそれぞれ脳の回（ひだ）に対応しています。各詩節を通して、神経系が持つ潜在力のすべてを詳細に学び、自身が持つ無限の可能性を引き出し、世界創造の仕組みを学ぶのがこの講座です。

このスートラの知識は、とても歴史のある深淵な知識ですが、ンヤン先生のお話は論理的かつ具体的で、現代を生きる私たちでもそれを理解することができます。また、そのお話はとても実践的であり、それを活用して未来を創造することができます。すなわち、過去、未来、現在を同時に体験することができる講座です。まさに永遠と絶対を生きるためのものだと思います。

来たる10月14日より新しいスートラ講座が開講します。この講座は1度だけではなく、何度も繰り返し受講することでその知識に開かれ、ご自身の進化を実感することができます。ワランも次で4回目です。

ぜひ多くの方にご受講いただきたいと思います。詳しくはKIRまでお問い合わせください。

トソスワラン
ありがとうございます



秋のはじめに思うことは…いい季節がくる前に内側を整えよう

第14回 ひょうたん島はどこへ進む

トソスキリヲ
ありがとうございます

皆さまこんにちは、いかがお過ごしですか？

キオマ食堂の庭先では、桜の葉が少しずつ色づき始めました。

思えば去年も、秋の訪れを最初に教えてくれたのが、キオマの庭の桜の葉でした。

内側から光がにじみだすかのような透明なオレンジ色の葉を見ていると、変化の準備はずっと前から始まっていたのだろうと、日本の四季を構成している自然に対して、コトハの作法で挨拶をしたくなってしまいます。

変化といえば、この数か月間取り組んでいた事柄がようやく形になってきて、現在は他の事柄を形にすることにフォーカスする生活を送っています。

このふたつの事柄にはっきりとした切り替わりはなく、実質的には同時にことを進めているため、隙間の時間を使ってちょこちょこ手を動かしているわけですが、現在の自身にとっては、この「隙間を埋める」事柄があることが、とてもありがたく感じたりします。

手を動かしていないと、ろくなことを考えないからです。

もちろんこの隙間を埋める行為の先には達成があり、この行為が自身の手を離れたとき、その達成を受け取れる、ということになるわけですが、この行為を手放すのが怖いという気持ちもあります。

この「手放して手が止まるのが怖い」という気持ちは、最近ようやく形になった事柄を進めているときにも感じていた感情で、キリヲはこの感情をエネルギーとして新しい取り組みに向かっていくのだろうと思います。

でも、それってカルマでは？

という「なんだかよくわからないモード」にハマっている今日このごろですが、少なくとも現在取り組み中の事柄においては達成がみえているので、早く形にして皆さまにお届けできるよう努めて参ります。

それでは、次回は約2週間後のアレンのク、満月の日にお目にかかれますよう。

本号もお読みくださり、まことにありがとうございます。

2023年9月15日、マセケのハ、新月の日に。

トソスキリヲ
ありがとうございます



秋のはじめに思うことは…寒さの予感に震えています



マ〜な神々はいつも一緒に世界に光を放っています。

マ〜星人?と思われる方はこちらへ



光の生命体「マ〜星人」-8- マ〜神話に登場するマ〜な神々



シヴァマ〜



ビシュヌマ〜



ブラフマ〜



ガネーシャマ〜



KoToHa *Integral Research*